

代表者名	竹村 達三	所管部課名	農林水産部農畜産振興課
所在地	秋田市中通6丁目7-9	設立年月日	昭和45年7月1日

【沿革、及び、県の出捐理由】

設立 昭和45年7月6日
 県肉用牛生産者の経営安定を図るため、
 民法第36条に基づく

【出捐者】(15年度当初)

(百万円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	65	42.0
市町村	69	69	45.0
その他	1	20	13.0
計	71	154	100.0

【事業】

主たる業務

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、肉用子牛生産者に生産者補給金を交付するための関連業務

事業実績

(人)

事業名等	12年度	13年度	14年度
生産者補給金	462	194	949
拡大奨励金	223	877	1,993
中核育成奨励金	11	12	12

14年度事業概要、及び、15年度事業計画・目標

14年度事業概要

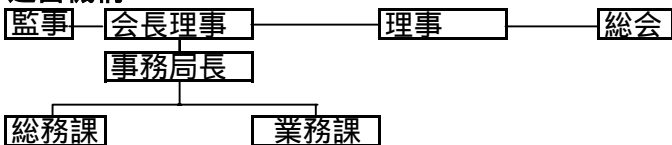
生産者補給金制度への加入頭数は7,050頭で補給金交付実績は949頭に対し48,597千円を交付
 生産拡大奨励金の交付実績は1,993頭に84,349千円を交付した

15年度事業計画

補給金制度への加入計画頭数は4,810頭併せて拡大奨励事業等についても継続して実施する

【組織】

運営機構



役員数

(人)

	理	事	監	事
常勤				
内、県OB				
非常勤		11		3
内、県OB				
内、県職員		2		
計		11		3
内、県関係者		2		

職員数

(人)

正職員	1	正職員	
内、県OB		平均年齢	57歳
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	3	正職員	
内、県OB		平均勤続年数	14年
計	4		
内、県関係者			

【財務】

損益状況

(百万円)

	金額
経常収入 A	365
受託事業収入	33
補助金収入	194
自主事業収入	
運用益収入	3
その他	135
経常支出 B	365
人件費	22
その他	343
経常損益 C = A - B	0
経常外収入	13
経常外支出	13
当期損益	0

財務状況

(百万円、%)

	金額	構成比
流動資産	8	6.0
固定資産	880	94.0
資産計	888	100.0
流動負債	4	0.5
短期借入金		
固定負債	678	76.4
長期借入金	4	0.5
引当金等	13	1.5
負債計	695	78.3
基本金	154	17.3
剰余金	39	4.4
資本計	193	21.7
負債・資本計	888	100.0

(百万円)

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

(千円、%)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	13,059	13,059	100.0%

【県の財政支出】

(千円)

	12年度	13年度	14年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	2,151	48,150	20,677	肉用子牛生産農家への補給金の積立金準備に対して助成
委託費			708	肉用牛経営の確立に必要な改善を行うためのデータ収集
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	12年度	13年度	14年度	12-13増減	13-14増減
健全性	自己資本比率	%	23.34	22.59	21.70	0.76	0.88
	借入金依存率	%	0.44	0.40	0.41	0.04	0.01
	流動比率	%	116.17	107.68	210.17	8.49	102.49
収益性	剰余金(欠損金)	千円	27,741	38,730	38,827	10,989	97
	経常利益率	%	0.80	2.65	0.03	1.85	2.62
	総資本利益率	%	0.83	1.20	0.01	0.38	1.19
発展性	経常収入額	千円	860,525	414,775	365,434	445,750	49,341
効率性	総資本回転率		1.03	0.45	0.41	0.58	0.04
	職員1人当たり経常収入	千円	172,105	103,694	91,359	68,411	12,335
	人件費比率	%	2.54	5.37	6.09	2.83	0.72

2 経営目標の達成状況

経営目標			12年度	13年度	14年度	15年度
経営改善指標	収支均衡の継続(千円)	目標				100
		実績	8,197	10,988	97	
経営改善指標	借入金償還財源の造成(千円)	目標				7,409
		実績	7,376	7,387	7,398	
事業成果指標	契約農家戸数(数)	目標				2,182
		実績	2,150	2,166	2,174	
事業成果指標	加入頭数(数)	目標				4,810
		実績	6,466	6,068	7,050	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

基本財産の運用益をもって健全な運営を図るべきところであるが、長引く超低金利情勢下にあっては運営財源の確保も困難な状況にあり、協会運営等に要する経費については、農畜産業振興事業団からの全面的な財政支援を受け、健全経営に努めている。

経営目標

収支均衡の継続のため、これまでと同様に事業団に財政支援を要望すると共に経費削減に努める
既借入金の償還財源については確保しているものの、今後不測の事態に対処できるよう更に造成に努める

契約農家戸数については、県内肉牛農家の100%加入に努める

加入頭数については、飼養頭数が減少傾向にあるものの、農家戸数同様100%加入に努める

4 総合評価

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
資産及び債権管理に引き続き留意する必要がある。 農業公社との統合に向け、適切な事務処理に配慮しておく必要がある。	